

令和4年度

印旛広域水道用水供給事業

下半期事業概要報告書

自 令和4年10月1日
至 令和5年3月31日

一. 令和4年度下半期の事業概要

1. 事業の概要

下半期の用水供給量は、10,719,420 m³（一日平均58,898 m³）で前年度同期の用水供給量 10,601,517 m³（一日平均58,250 m³）との比較では117,903 m³（対前年度同期比1.11%）の増となっています。

契約状況については、保存工事として印旛広域水道事務所塗装修繕工事、高崎川水管橋空気弁修繕工事を締結しました。

なお、本年度下期の業務量は、次のとおりです。

区 分	令和4年度下半期 (m ³)	令和3年度下半期 (m ³)	増 減 (m ³)	前年度比 (%)
取 水 量	11,209,060	11,083,180	125,880	1.14
送 水 量	10,732,938	10,622,137	110,801	1.04
有 収 水 量	10,719,420	10,601,517	117,903	1.11

2. 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

収益的収支については、事業収益2,014,900,844円に対し、事業費用は、2,003,108,714円となりました。

事業収益の内訳は、営業収益1,926,145,788円、営業外収益81,217,700円及び特別利益7,537,356円となっています。

また、事業費用の内訳は、営業費用1,963,850,428円、営業外費用39,258,286円となりました。

なお、前年度同期の事業収益（2,059,537,186円）との比較では44,636,342円（対前年度同期比2.17%）の減収となり、また、前年度同期の事業費用（1,858,865,775円）との比較では144,242,939円（対前年度同期比7.76%）の増額となっています。

一方、資本的収支については、資本的収入額121,544,674円に対し、資本的支出額は900,411,254円となりました。

資本的収入の内訳は、企業債が39,600,000円、国庫補助金が39,656,000円、出資金が42,018,000円、その他資本的収入が270,674円となり、資本的支出の内訳は、新設工事費が119,026,250円、建設改良費が642,757,773円、企業債償還金が129,560,625円、年賦償還金が6,990,833円、国庫補助金返還金が2,075,773円となっております。

(1) 収益的收入及び支出(消費税及び地方消費税込み)

収入

(単位:円)

	予算額(A)	上半期執行額(B)	下半期執行額(C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比(% (C/A))
事業収益	4,031,462,000	2,012,100,151	2,014,900,844	4,461,005	50.0
営業収益	3,863,318,000	1,932,630,890	1,926,145,788	4,541,322	49.9
営業外収益	160,851,000	79,469,261	81,217,700	164,039	50.5
特別利益	7,293,000	0	7,537,356	△244,356	103.4

支出

(単位:円)

区分	予算額(A)	上半期執行額(B)	下半期執行額(C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比(% (C/A))
事業費用	3,749,552,000	1,730,842,238	2,003,108,714	15,601,048	53.4
営業費用	3,680,785,000	1,710,882,807	1,963,850,428	6,051,765	53.4
営業外費用	59,360,000	19,959,431	39,258,286	142,283	66.1
予備費	9,407,000	0	0	9,407,000	0.0

(2) 資本的收入及び支出(消費税及び地方消費税込み)

収入

(単位:円)

区分	予算額(A)				上半期執行額(B)	下半期執行額(C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比(% (C/A))
	予算額	法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合計				
資本的收入	154,640,000	0	0	154,640,000	2,322,000	121,544,674	30,773,326	78.6
企業債	50,000,000	0	0	50,000,000	0	39,600,000	10,400,000	79.2
国庫補助金	50,000,000	0	0	50,000,000	0	39,656,000	10,344,000	79.3
出資金	54,640,000	0	0	54,640,000	2,322,000	42,018,000	10,300,000	76.9
その他資本的收入	0	0	0	0	0	270,674	△270,674	-

支出

(単位:円)

区分	予算額(A)				上半期執行額(B)	下半期執行額(C)	予算残額 (A-B-C)	予算対比(% (C/A))
	予算額	法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計				
資本的支出	1,363,009,000	90,420,000	78,646,143	1,532,075,143	236,077,337	900,411,254	395,586,552	58.8
新設工事費	150,059,000	0	78,646,143	228,705,143	51,068	119,026,250	109,627,825	52.0
建設改良費	928,913,000	90,420,000	0	1,019,333,000	100,617,522	642,757,773	275,957,705	63.1
企業債償還金	258,038,000	0	0	258,038,000	128,477,240	129,560,625	135	50.2
年賦償還金	13,923,000	0	0	13,923,000	6,931,507	6,990,833	660	50.2
国庫補助金返還金	2,076,000	0	0	2,076,000	0	2,075,773	227	100.0
予備費	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000	0.0

3. 工 事

(1)改良工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日 (予定年月日)
印東加圧ポンプ場 1・2号調整池耐震 補強工事	1. 車路築造工 2. 1号調整池耐震補強工 3. 2号調整池耐震補強工	1式 1式 1式 624,270,482 (1,107,530,600)	令和2. 8. 7	令和5. 2.28
佐倉市志津供給地 点圧力・流量調節 弁更新工事	1. φ 250mm電動ロート弁更新工 2. φ 250mmソフトロール仕切弁更新工 3. φ 100mmソフトロール仕切弁更新工 4. 試運転調整	2基 1基 1基 1式 85,602,000	令和3.7.15	令和4. 6.30
長門川分岐地点及 び成田市並木町供 給地点計装設備更 新工事	1. 長門川分岐地点計装設備更新工 2. 成田市並木町供給地点計装設備更新工 3. 印東加圧ポンプ場側設備機能改造工 4. 北総浄水場側設備機能改造工	1式 1式 1式 1式 (192,500,000) ⁰	令和3. 3.17	(令和6.2.29)

(注)工事費の()書きは工事費総額であり、上段は当該年度執行分である。

(2)保存工事の概況

工 事 名	施 工 内 容	工事費(円)	着工年月日	竣工年月日
四街道市第3供給 地点流量調節弁等 制御装置修繕工事	1. 電動弁駆動装置交換工 2. 流量調節弁等制御装置部品交換工 3. 流量調節弁等機構部部品交換工 4. 試運転調整工 5. バルブ外面塗装工	2台 6台 5台 1式 7台 34,100,000	令和4.7.19	令和5.3.28
印旛広域水道事務 所塗裝修繕工事	1. 防水工事 2. 屋根工事 3. 塗装工事	1式 1式 1式 11,832,700	令和4.11.8	令和5.2.6
高崎川水管橋空気 弁修繕工事	1. φ 100mm急排空気弁取替工	1式 2,750,000	令和4.12.28	令和5.3.18

二. 令和4年度印旛郡市広域市町村圏事務組合
水道用水供給事業損益計算書(消費税及び地方消費税抜き表示)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

各項目の上段()内は、令和4年度下期の数値を示す。

(単位:円)

1 営業収益			
	(1,751,041,647)		
(1) 給水収益	3,507,978,841		
	(0)	(1,751,041,647)	
(2) その他の営業収益	0	3,507,978,841	
2 営業費用			
	(1,197,756,534)		
(1) 原水及び浄水費	2,318,749,628		
	(203,522,336)		
(2) 送水費	273,996,932		
	(58,143,616)		
(3) 総係費	99,091,229		
	(362,480,898)		
(4) 減価償却費	726,301,142		
	(2,820,698)	(1,824,724,082)	
(5) 資産減耗費	2,820,698	3,420,959,629	
営業利益			(△73,682,435)
			87,019,212
3 営業外収益			
	(1,297,000)		
(1) 他会計補助金	1,699,000		
	(0)		
(2) 受取利息及び配当金	0		
	(78,076,142)		
(3) 長期前受金戻入	157,062,750		
	(1,709,356)	(81,082,498)	
(4) 雑収益	1,784,909	160,546,659	
4 営業外費用			
	(18,819,545)		
(1) 支払利息	38,778,976		
	(26,443)	(18,845,988)	(62,236,510)
(2) 雑支出	26,443	38,805,419	121,741,240
経常利益			(△11,445,925)
			208,760,452
5 特別利益			
	(0)		
(1) 過年度損益修正益	0		
	(7,537,356)	(7,537,356)	
(2) その他特別利益	7,537,356	7,537,356	
当年度純利益			(△3,908,569)
			216,297,808
前年度繰越利益剰余金			(△773,776,548)
			0
その他未処分利益剰余金変動額			(258,037,865)
			258,037,865
当年度未処分利益剰余金			(△519,647,252)
			474,335,673

三. 令和4年度印旛郡市広域市町村圏事務組合

水道用水供給事業貸借対照表 (消費税及び地方消費税抜き表示)

(令和5年3月31日)

(単位:円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ. 土地		300,735,514	
ロ. 建物	295,354,231		
減価償却累計額	<u>△ 176,365,367</u>	118,988,864	
ハ. 構築物	15,338,640,188		
減価償却累計額	<u>△ 9,856,946,649</u>	5,481,693,539	
ニ. 機械及び装置	3,793,596,459		
減価償却累計額	<u>△ 2,557,192,153</u>	1,236,404,306	
ホ. 工具器具及び備品	4,114,780		
減価償却累計額	<u>△ 2,904,980</u>	1,209,800	
ヘ. 建設仮勘定		292,075,892	
有形固定資産合計			<u>7,431,107,915</u>

(2) 無形固定資産

イ. 水利権		144	
ロ. ダム使用权		11,769,050,832	
ハ. 電話加入権		547,100	
ニ. その他無形固定資産		402,305	
無形固定資産合計			<u>11,770,000,381</u>

(3) 投資その他の資産

イ. 前払退職手当負担金		<u>119,186,175</u>	
投資その他の資産合計			<u>119,186,175</u>
固定資産合計			<u>19,320,294,471</u>

2 流動資産

(1) 現金預金		4,977,478,007	
(2) 未収金		322,772,613	
(3) 貯蔵品		1,824,230	
(4) 前払金		64,003,300	
流動資産合計			<u>5,366,078,150</u>

資産合計			<u><u>24,686,372,621</u></u>
------	--	--	------------------------------

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債
企業債合計

2,655,325,593

2,655,325,593

(2) 年賦未払金

116,589,122

固定負債合計

2,771,914,715

4 流動負債

(1) 企業債

イ. 建設改良費等の財源に
充てるための企業債
企業債合計

257,512,592

257,512,592

(2) 年賦未払金

13,487,315

(3) 未払金

218,798,951

(4) 引当金

賞与引当金

12,324,000

引当金合計

12,324,000

その他流動負債

980

その他流動負債

980

流動負債合計

502,123,838

5 繰延収益

(1) 長期前受金

10,291,608,770

(2) 長期前受金収益化累計額

△ 5,665,218,955

繰延収益合計

4,626,389,815

負債合計

7,900,428,368

資本の部

6 資本金

14,660,674,316

7 剰余金

(1) 資本剰余金

イ. 国庫補助金

182,318,901

ロ. その他資本剰余金

444,289,033

資本剰余金合計

626,607,934

(2) 利益剰余金

イ. 減債積立金

1,024,326,330

ロ. 当年度未処分利益剰余金

474,335,673

利益剰余金合計

1,498,662,003

剰余金合計

2,125,269,937

資本合計

16,785,944,253

負債・資本合計

24,686,372,621

注 記 表

I 重要な会計方針

- 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法
・貯蔵品 先入先出法による原価法

- 2 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産

・定額法

・主な耐用年数

建物:65年、構築物:40年、機械及び装置:15年、器具及び備品:5～15年

- (2) 無形固定資産

・定額法

- 3 引当金の計上基準

- (1) 退職手当給付引当金

一般会計との協議により、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額と千葉県市町村総合事務組合への積立額を比較したところ、積立額が要支給額を超える負担額となっており、前払費用として前払退職手当負担金を計上している。

- (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費の支払に備えるため、本年度末における支給見込額に基づき、本年度の負担に属する額を計上している。

- 4 消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II 貸借対照表

- 1 賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当、勤勉手当の支給及びそれらの法定福利費を支出するため、12,490千円を取り崩している。

四. 令和5年度予算の概要

1. 予算の概要

令和5年度予算は、水道用水供給量22,778,840m³（一日平均62,237m³）で前年度比502,540m³（2.26%）の供給量増となっています。

資本的支出の新設工事費は、霞ヶ浦導水建設事業の負担金を計上しました。建設改良費は、「船形分岐地点及び成田市山口供給地点計装設備更新工事」（令和5年度～令和7年度）、「印西市平岡供給地点圧力・流量調節弁更新工事」（令和5年度～令和7年度）、「鹿島川水管橋伸縮可とう管補強工事」等を計上しました。

収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	比較増減
事業収益	3,929,864,000	4,050,853,000	△ 120,989,000
営業収益	3,760,959,000	3,871,165,000	△ 110,206,000
営業外収益	157,645,000	172,288,000	△ 14,643,000
特別利益	11,260,000	7,400,000	3,860,000

支出

区分	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	比較増減
事業費用	3,785,627,000	3,671,274,000	114,353,000
営業費用	3,683,269,000	3,617,863,000	65,406,000
営業外費用	92,358,000	43,411,000	48,947,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

資本的収入及び支出

収入

区分	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	比較増減
資本的収入	174,431,000	154,640,000	19,791,000
企業債	49,200,000	50,000,000	△ 800,000
国庫補助金	49,333,000	50,000,000	△ 667,000
出資金	56,064,000	54,640,000	1,424,000
その他資本的収入	19,834,000	0	19,834,000

支出

区分	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	比較増減
資本的支出	711,606,000	1,397,936,000	△ 686,330,000
新設工事費	168,817,000	150,000,000	18,817,000
建設改良費	127,431,000	963,899,000	△ 836,468,000
企業債償還金	257,513,000	258,038,000	△ 525,000
年賦償還金	130,077,000	13,923,000	116,154,000
国庫補助金返還金	11,156,000	2,076,000	9,080,000
他会計出資金返還金	6,611,000	0	6,611,000
他会計負担金返還金	1,000	0	1,000
予備費	10,000,000	10,000,000	0

2. 事業の経営方針

当組合は、構成団体の早期供給要望に対し、浄水場等基幹施設の建設を先送りし、千葉県企業局への浄水加工委託により、昭和57年度に一部給水を開始し、平成5年度から全構成団体へ供給となっております。

また、平成17年度から「水道施設の使用及び業務委託に関する協定書」を締結し、千葉県企業局の行政財産の使用許可及び浄水処理等の業務委託による方式に改めたものであります。

経営状況ですが、平成19年度に累積欠損金が解消され令和4年度決算におきましても、208,760,452円の経常利益となっており、資金不足額も無く、流動比率も高く、良好な経営状態にあると判断されるところであります。

しかし、今後は資本費の負担や施設の更新事業費が多大に見込まれ、厳しい経営を余儀なくされることが想定されるため、更なる経営の効率化に努めます。

さらに、事業費の大半は、千葉県企業局施設の使用料及び浄水処理等の委託料であり、長期の財政を見通すことは大変困難であります。

今後も水道水の供給を安定して行うため、将来の水需要を的確に把握し、事業運営を効率的に行います。